

7

資料

1

2

3

4

5

6

7

資料

1. 岡山市子育てアクションプラン（平成16年度～平成21年度）の推進状況

※平成21年度目標値は平成15年度市域での数値です
平成15年度及び平成20年度数値は、各年度の市域での数値です

○施策の目標1 子どもが健やかに生まれ育つための母子保健などの充実			
乳幼児健診の充実	15年度	21年度目標値※	20年度
3～5カ月児健診受診率	92%	95%	93.0%
1歳6カ月児健診受診率	84%	90%	88.2%
三歳児健診受診率	80%	85%	85.1%

○施策の目標2 思春期の健康づくりの支援			
性教育出前講座開催回数	15年度	21年度目標値※	20年度
開催回数	44回	開催回数の拡大	57回

○施策の目標3 子育ての負担感や不安感をやわらげる支援			
ショートステイの拡充	15年度	21年度目標値※	20年度
ショートステイ実施箇所	5か所	6か所	6か所
一時保育の充実			
一時保育実施箇所	28か所	35か所	43か所

○施策の目標4 子育てについて学ぶ親などの支援			
乳幼児期の食育事業の開催回数	15年度	21年度目標値※	20年度
食育事業開催回数	13回	拡大	20回
スクールランチセミナー			
スクールランチセミナー実施学区	8中学校区	全ての中学校区	全ての中学校区
学校給食試食会の実施箇所の拡大			
学校給食試食会実施学校数	81小・28中学校	全ての小中学校	126小中学校

○施策の目標6 障害のある子どもへの支援の強化			
障害児保育の充実	15年度	21年度目標値※	20年度
障害児保育拠点園数	8園	10園	11園

○施策の目標8 地域で子どもが健やかに育つための支援			
子育て広場の充実	15年度現状値	21年度目標値※	平成20年度
子育て広場実施箇所	9か所	10か所	10か所
地域子育て支援センターの充実			
地域子育て支援センター実施箇所	17か所	19か所	22か所

○施策の目標10 子育てと仕事が両立できるサービスなどの充実と労働環境の改善に向けた取り組みの応援			
保育基盤の整備	15年度	21年度目標値※	20年度
通常保育の定員	10,837人	12,000人	12,857人
保育サービスの拡充			
延長保育の実施箇所	73か所	80か所	84か所
休日保育の実施箇所	7か所	12か所	9か所
病児・病後児保育の実施箇所	5か所	6か所	5か所
放課後児童クラブの拡充			
放課後児童クラブ登録数	2,891人	3,800人	4,436人

2. 岡山市の子ども・若者をめぐる状況の変化

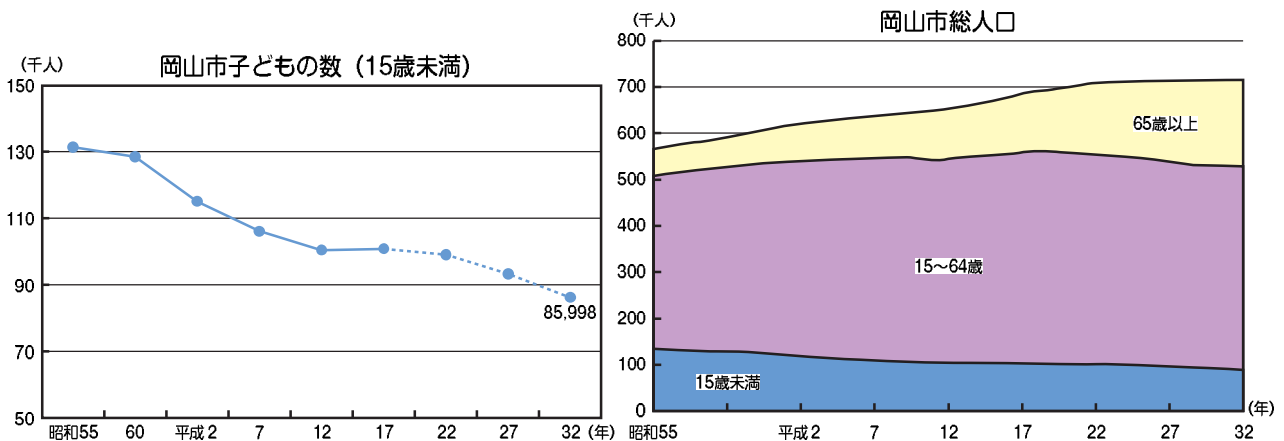
1. 社会の状況

(1)人口の推移と将来推計

岡山市の総人口は平成17年の国勢調査時点では約674,746人で増加傾向が続いています。今後も増加傾向が続き、平成27年には約72万人まで増加します。年齢3区分別の割合を見ると、15歳未満の子どもの割合と労働人口（15歳～64歳）は、ともに減少していますが、65歳以上の人口は増加し、少子高齢化が今後、より一層進行すると考えられます。

岡山市	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年
総人口	696,172人	709,776人	716,935人	716,679人
15歳未満人口	100,531人	98,661人	92,922人	85,998人
15歳未満 人口割合	14.4%	13.9%	13.0%	12.0%
15歳～64歳 人口割合	66.1%	64.4%	62.0%	61.5%
65歳以上 人口割合	19.0%	21.7%	25.0%	26.5%

現在の市域に組み替え、平成17年総人口は年齢不詳を含む

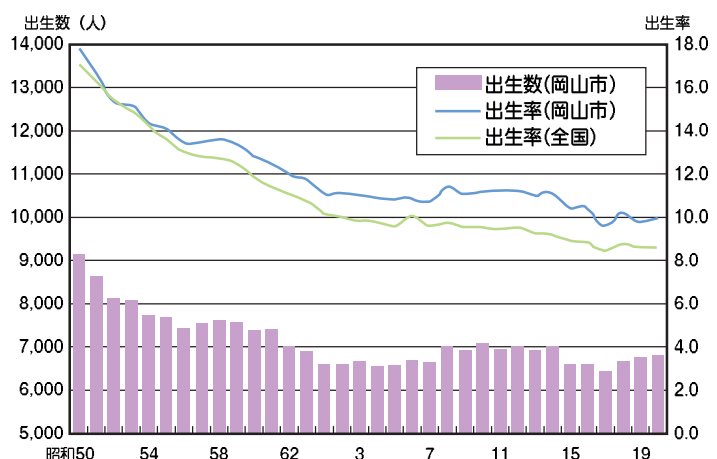


各年10月1日現在（平成17年までは、平成17年10月1日現在の市域に組み替え、平成17年総人口は不詳を含む）
【国勢調査・平成17年以降は岡山市推計値】

(2)出生の動向

①出生数と出生率

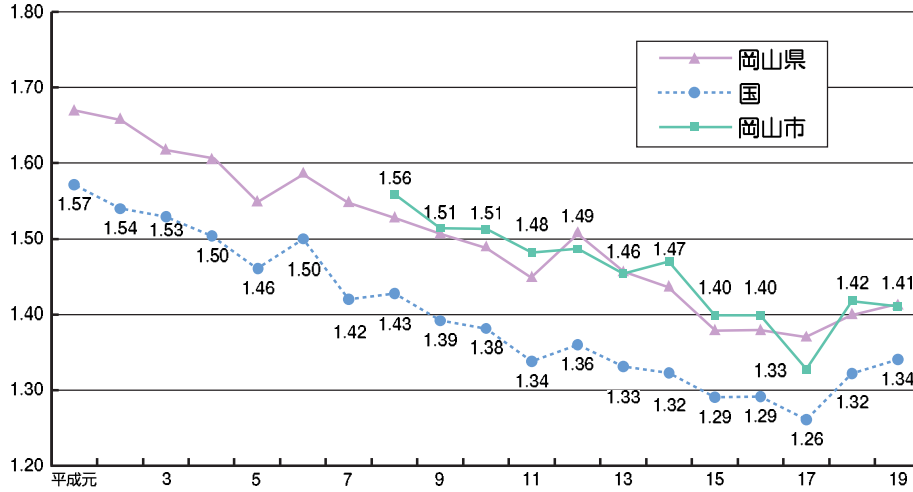
出生数は年間約6,700人前後で推移しています。出生率は、減少傾向にあります。平成20年には岡山市では9.9となっており全国（8.6）と比較すると高く推移しています。



【人口動態統計】

②合計特殊出生率

岡山市の合計特殊出生率は、平成17年には1.33まで減少しましたが、平成18年には1.42まで回復した後、平成19年には1.41とほぼ横這いとなっています。全国と比較すると岡山市、岡山県ともに高い水準にあります。

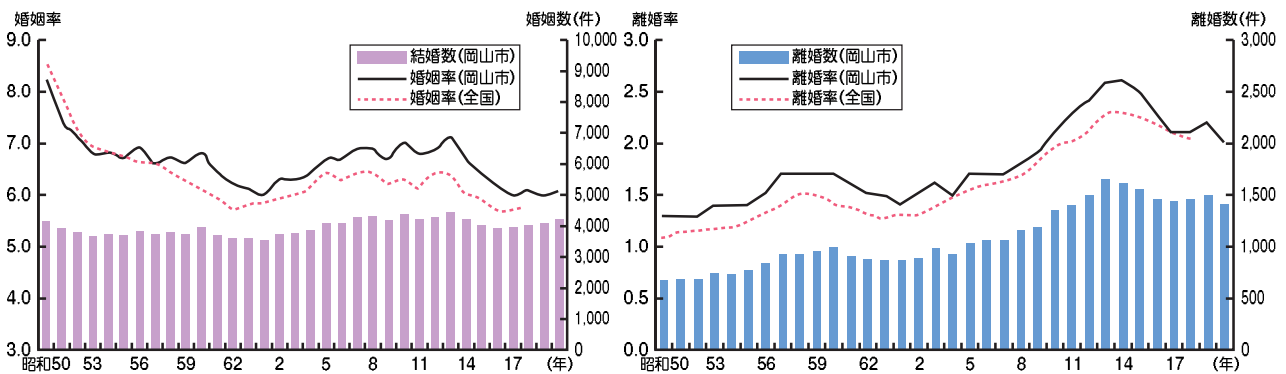


【人口動態統計】

(3)婚姻の動向

①婚姻・離婚率

婚姻数については、年間約4,000件で推移していますが、婚姻率は減少傾向にあります。全国と比較すると高く推移しています。離婚率は、平成19年1,490件で30年前と比較すると2倍以上の増加となっています。

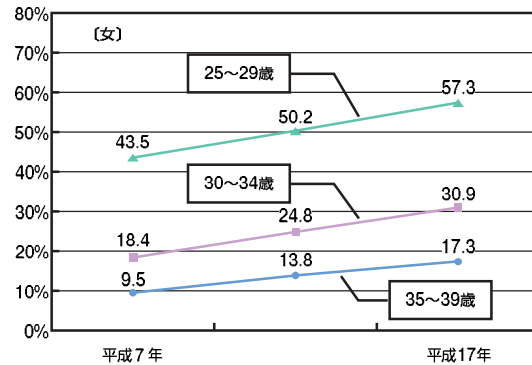
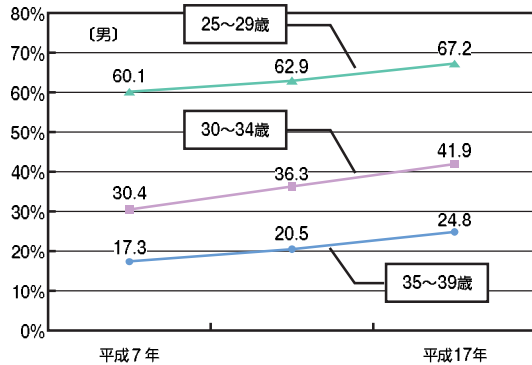


【人口動態統計】

②未婚率

岡山市内で結婚していない人の割合は、平成17年度の30歳～34歳の男性で41.9%となっています。平成7年では30.4%であったことから大幅に増加しています。女性も18.4%から30.9%に増加しています。全国的にも男女ともに急速に未婚化が進行しています。

〔未婚率の推移〕（岡山市）



【国勢調査】

③平均初婚年齢

平成18年では男性29.5歳・女性27.8歳となっており、高く推移しています。平成10年度と比較すると男性で1.6歳、女性で1.5歳高くなっています。

平均初婚年齢（岡山市）	平成10年	平成16年	平成17年	平成18年
夫	27.9歳	28.9歳	29.5歳	29.5歳
妻	26.3歳	27.3歳	27.9歳	27.8歳

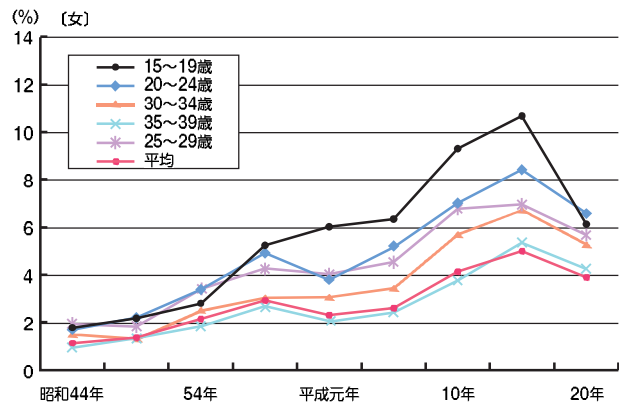
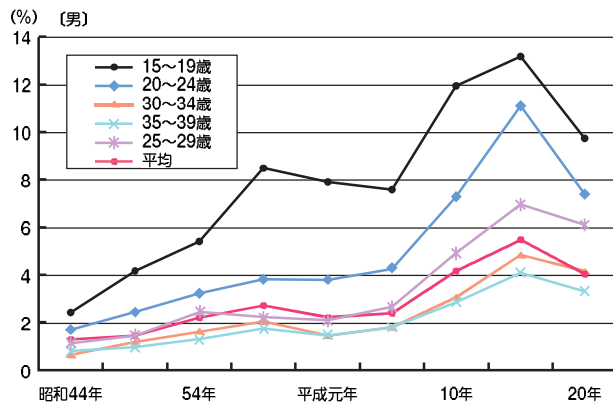
【人口動態統計】

(4)就労状況

①若者の失業率

男女とも、15～29歳の失業率が平均と比較して高くなっており、増加傾向にあります。また、女性では30歳代の失業率も平均より高くなっています。

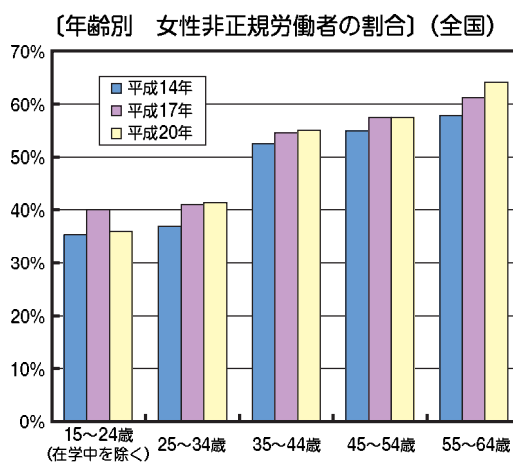
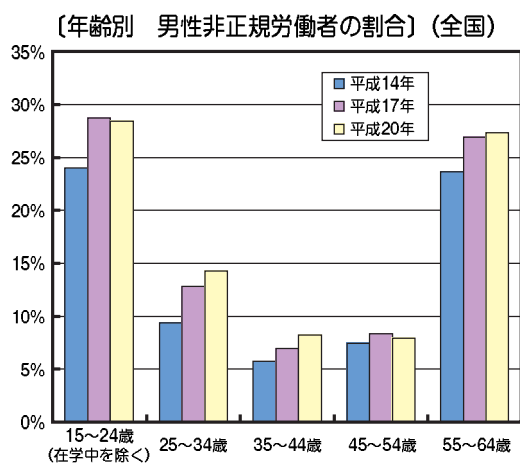
〔若者の完全失業率の推移〕（全国）



【総務省労働力調査】

②若者の非正規労働者の状況

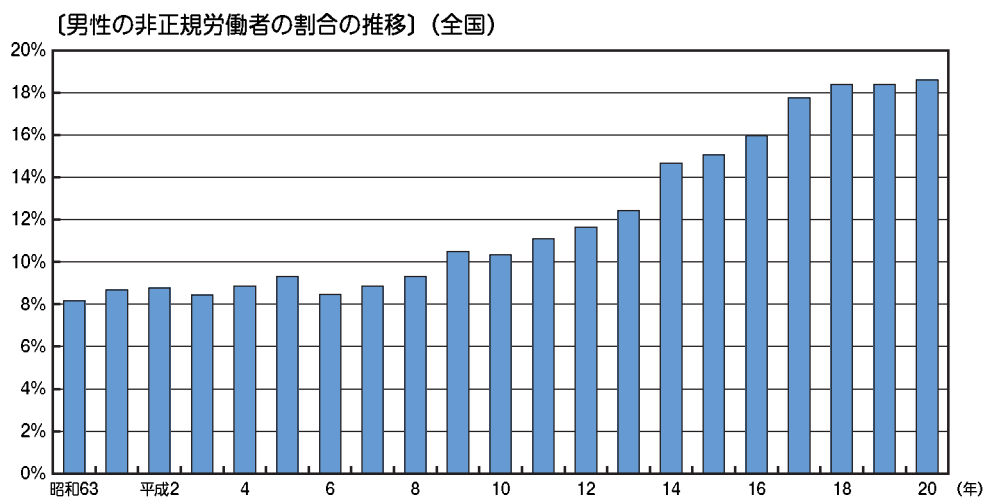
男性の15～34歳の非正規労働者の割合が他の年齢に比べ高く、年々上昇しています。また、女性は、年齢と共に非正規労働者の割合も上昇しています。



【総務省労働力調査詳細集計】

③男性の非正規労働者の状況

男性の非正規労働者の割合は、年々増加傾向にあります。

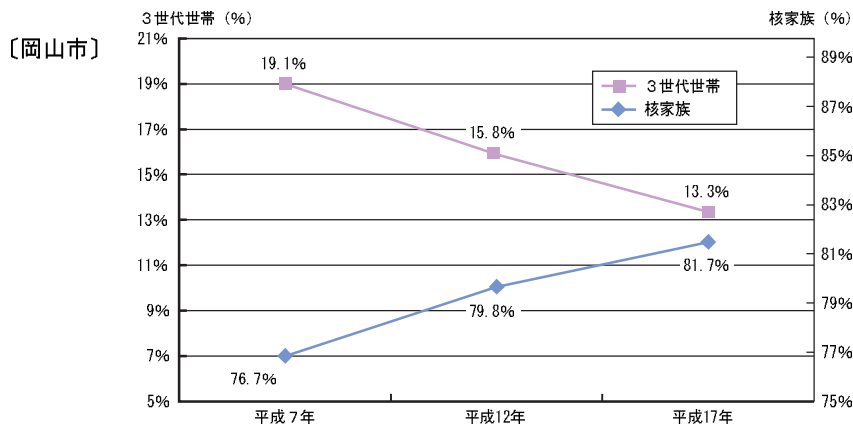


【平成13年以前は労働力特別調査、平成14年以降は労働力調査詳細集計から作成】

2. 家庭の状況

(1)世帯の状況

平成17年では、子どものいる世帯のうち親と子どものみの核家族の割合は81.7%となっており、増加しています。また3世代世帯の割合は、逆に年々減少しています。



【国勢調査】

18歳未満の子どもがいる家庭は平成17年では24.9%となっており、年々減少しています。

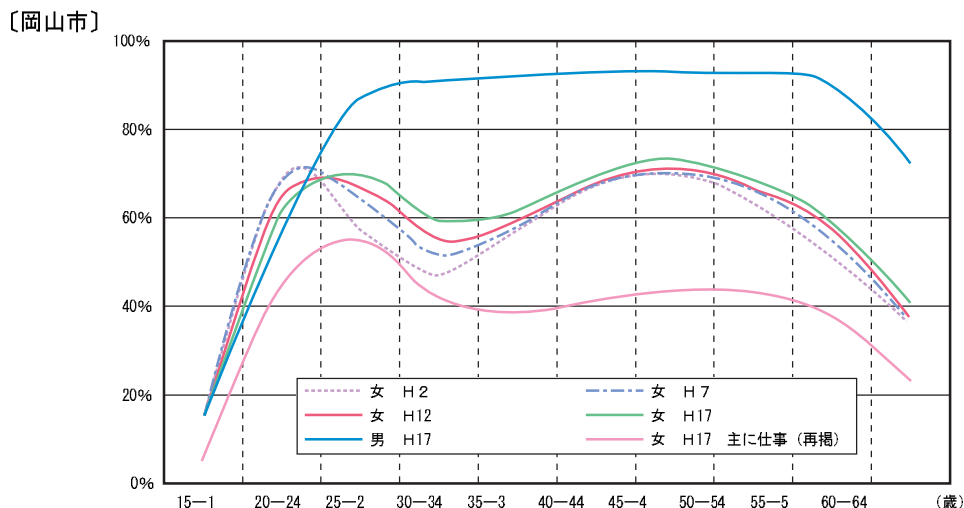
岡山市	平成7年	平成12年	平成17年
子どもがいる家庭の割合	29.9%	27.5%	24.9%

【国勢調査】

(2)就労状況

①女性の就労状況

女性の労働力は男性と比べて20歳代後半から30歳代で大きく落ち込んでいます。落ち込む割合は年ごとに減少しており、始めの山もなだらかになり後退しています。これは、未婚化・晩婚化により結婚による離職が減り、時期も遅れてきていることも一因と考えられます。就業している女性のうち、仕事を主としている人では、一度落ち込んだ労働力はほとんど回復していません。

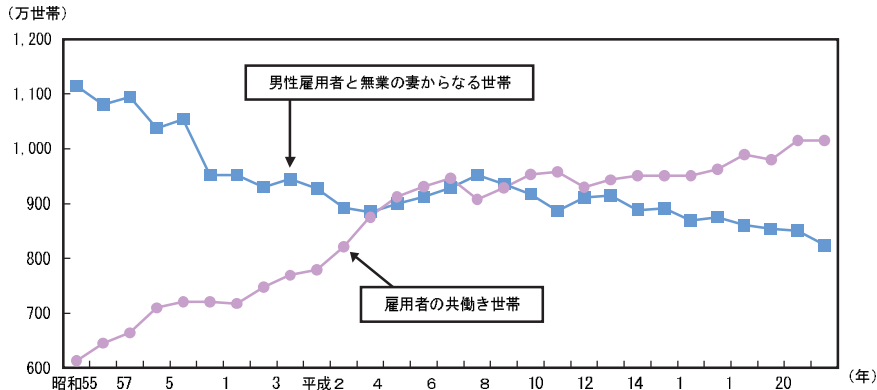


【国勢調査】

② 共働き家庭の増加

共働き家庭が年々増加しており、この傾向が続いています。

〔共働き等世帯数の推移〕（全国）



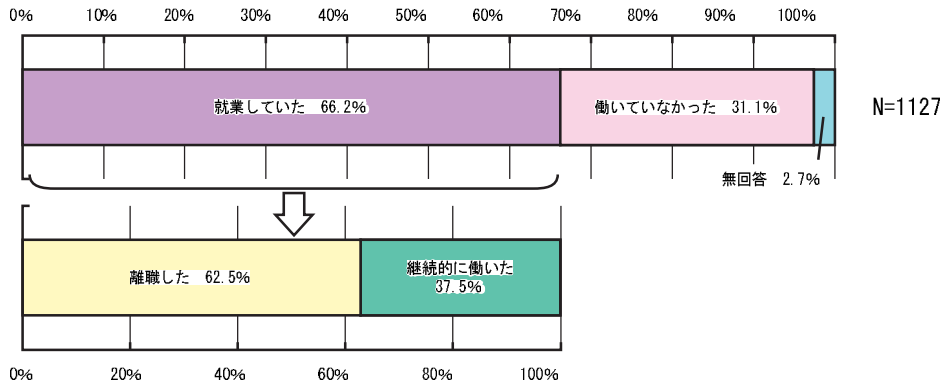
- (備考) 1. 昭和55年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」(各年2月。ただし、昭和55年から57年は各年3月)、14年以降は「労働力調査(詳細集計)」(年平均)より作成。
 2. 「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」とは、夫が非農林業雇用者で、妻が非就業者(非労働人口及び完全失業者)の世帯。
 3. 「雇用者の共働き世帯」とは、夫婦ともに、夫婦ともに非農林業雇用者の世帯。

【平成21年版 男女共同参画白書】

③ 出産時の離職について

出産1年前に働いていた女性のうち、出産を機に約6割が離職しています。

〔出産前後1年以内の就業状況〕



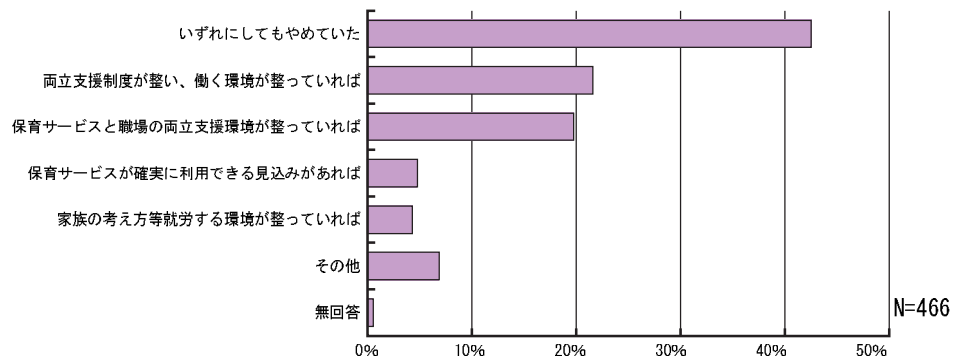
【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

④ 離職の理由

「いずれにしてもやめていた」が最も高いが、両立支援の職場環境整備を理由としている割合も高くなっています。

〔保育サービスや仕事と家庭の両立を支援する職場環境が整っていたら就労を継続しましたか〕

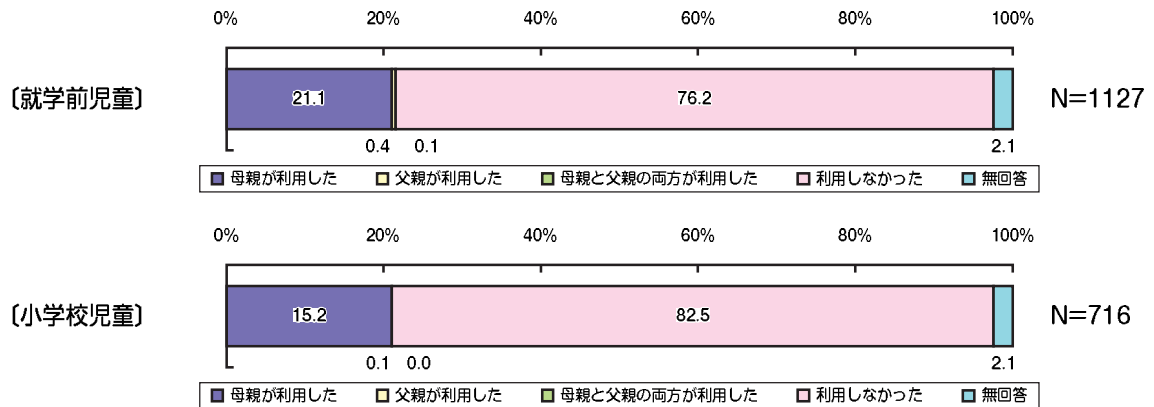
〔就学前児童〕



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

⑤ 育児休業制度の利用について

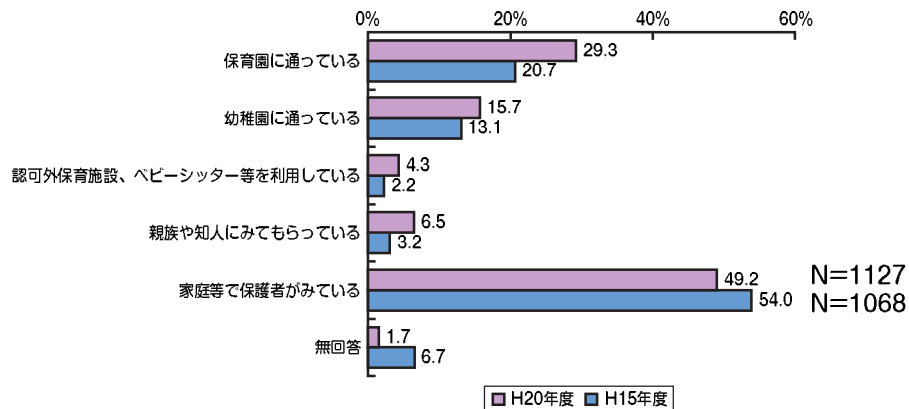
育児休業制度の利用状況は、父親の利用が非常に少なくなっています。小学校児童と比較して、利用割合が増えています。



〔平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査〕

⑥ 保育の状況

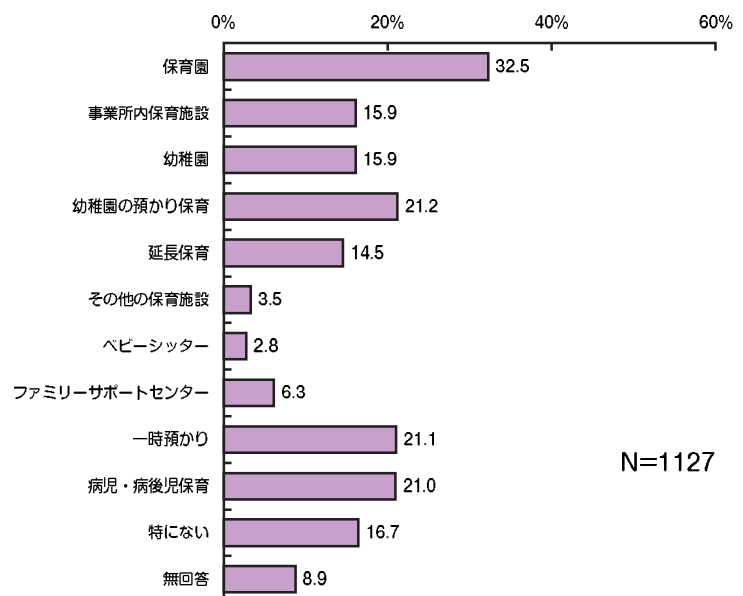
前回調査と比べると、保育園等のサービスを利用している割合が増加し、家庭等で保護者がみている割合は減少しています。



〔平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査〕

⑦ 今後利用したい又は足りてないと思う保育サービス

今後利用したい又は足りてないと思う保育サービスの割合で「幼稚園の預かり保育」「一時預かり」「病児・病後児保育」が高くなっています。



〔平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査〕

1

2

3

4

5

6

7

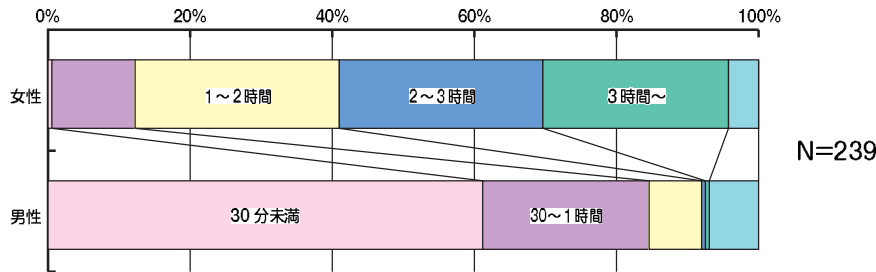
資料

(3) 育児や家事の時間

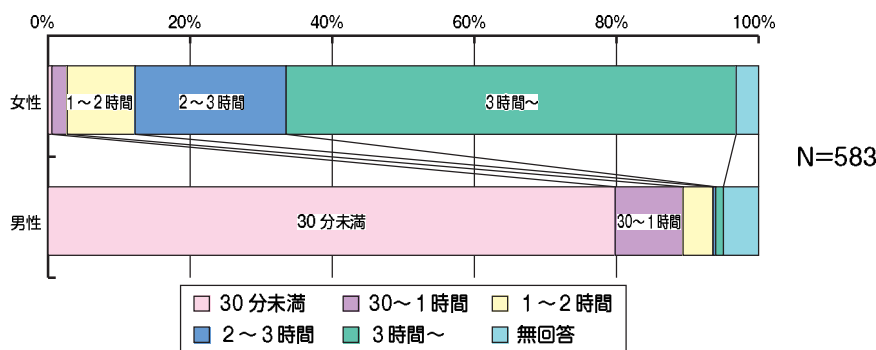
① 働き方の違いによる平日の家事の時間

共働き世帯の男性の家事時間は専業主婦世帯の男性と比べて多くなっていますが、女性の家事時間と比べると非常に少ない結果となっています。

【共働き世帯 平日の家事の時間】



【専業主婦世帯 平日の家事の時間】

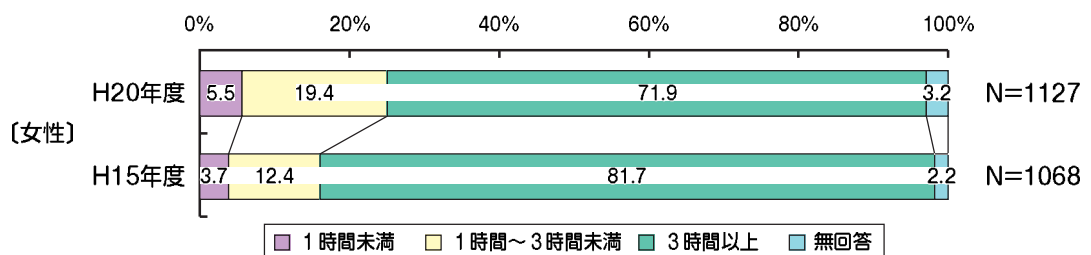
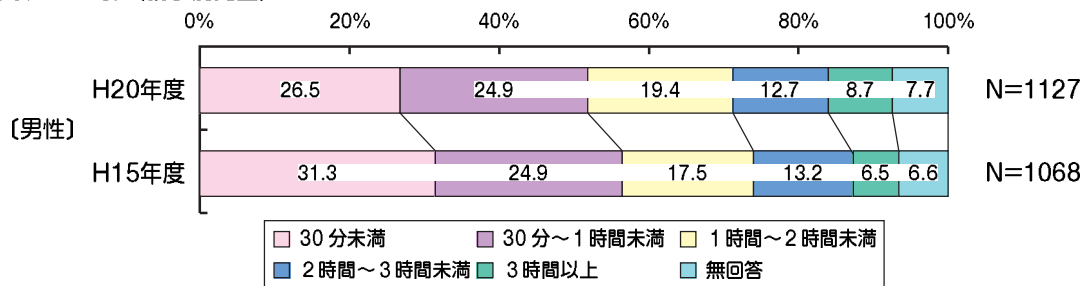


【平成20年度 岡山子育てに関するアンケート調査】

② 男性の子どもや家事に係る時間 (理想と現実)

男性の子どもと関わる時間は前回調査よりも増えており、子どもと関わる時間をもっと増やしたいと考えています。女性が子どもと関わる時間は減っており、家事の時間を減らして子どもと関わる時間にあてたいと考えています。

平日子どもと関われる時間(就学前児童)



【平成20年度 岡山子育てに関するアンケート調査】

1

2

3

4

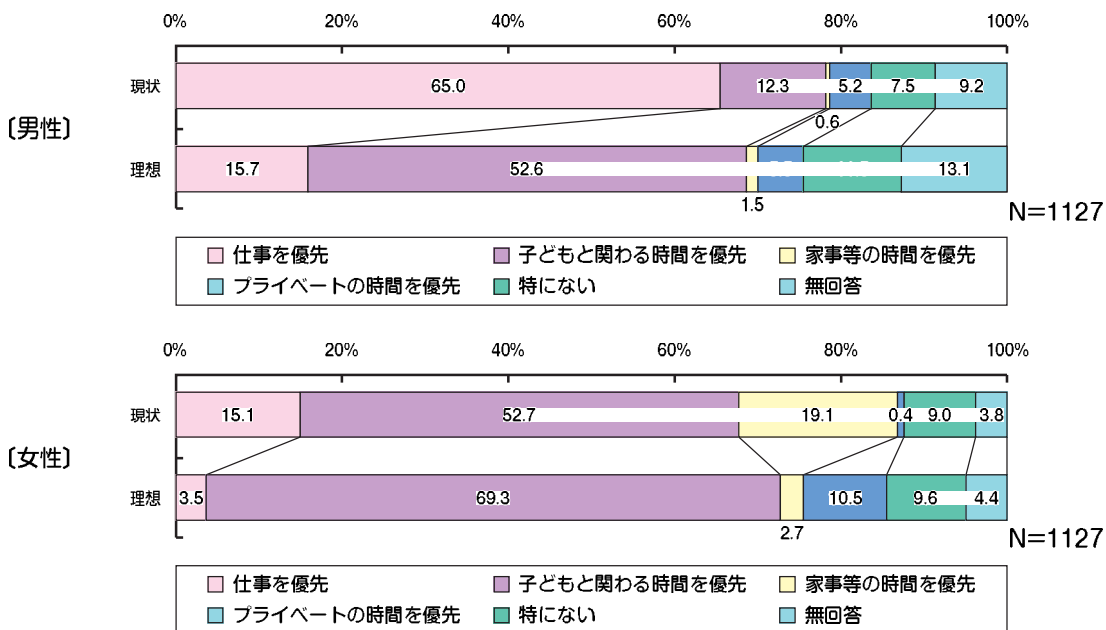
5

6

7

資料

家事や子どもと関わる時間の優先度(就学前児童)



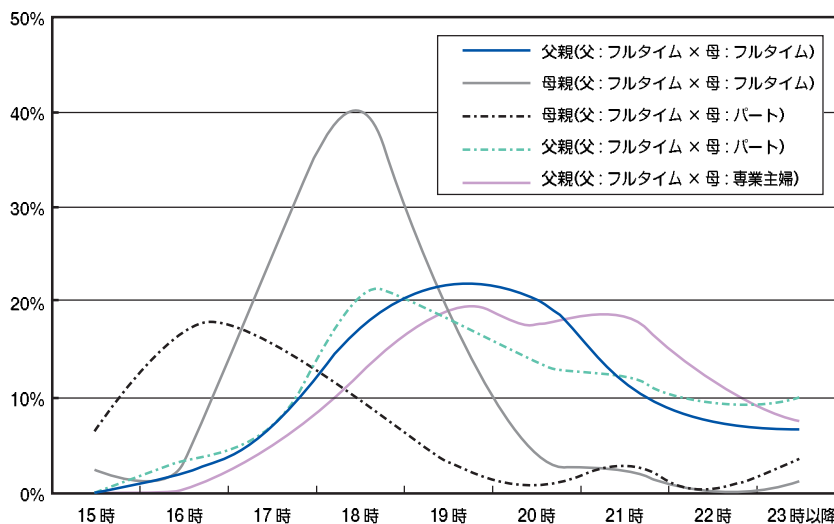
【平成 20 年度 岡山子育てに関するアンケート調査】

③親の帰宅時刻

父親の帰宅時刻は、母親の働き方が違って変わりません。

【就学前児童】

【働き方別帰宅時刻】



【平成 20 年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

1

2

3

4

5

6

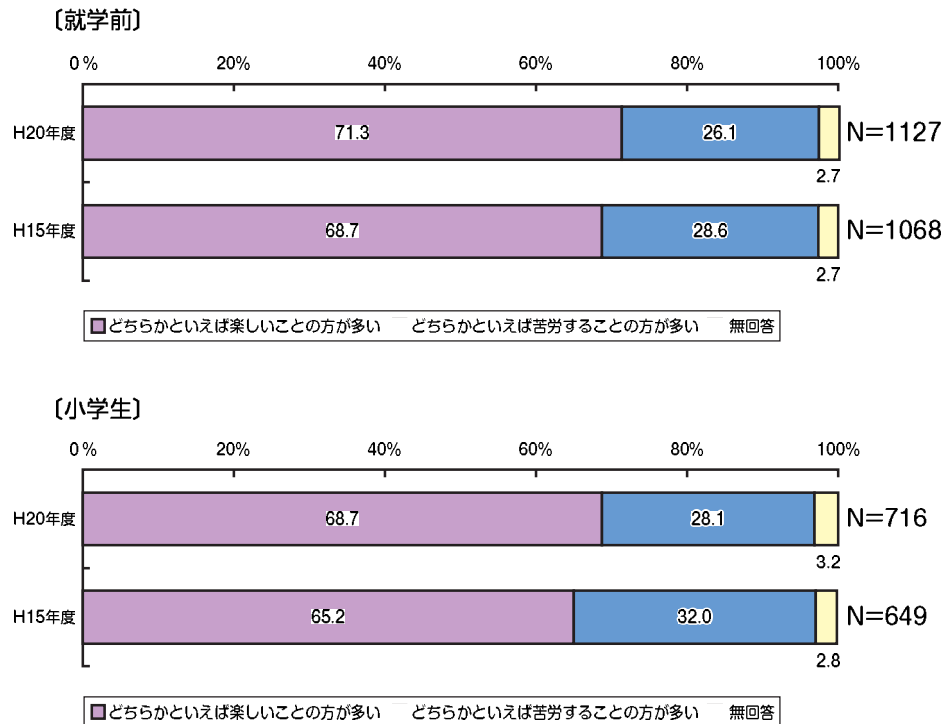
7

資料

(4)子育てに関する親の意識

①子育てが楽しいと感じる人の割合

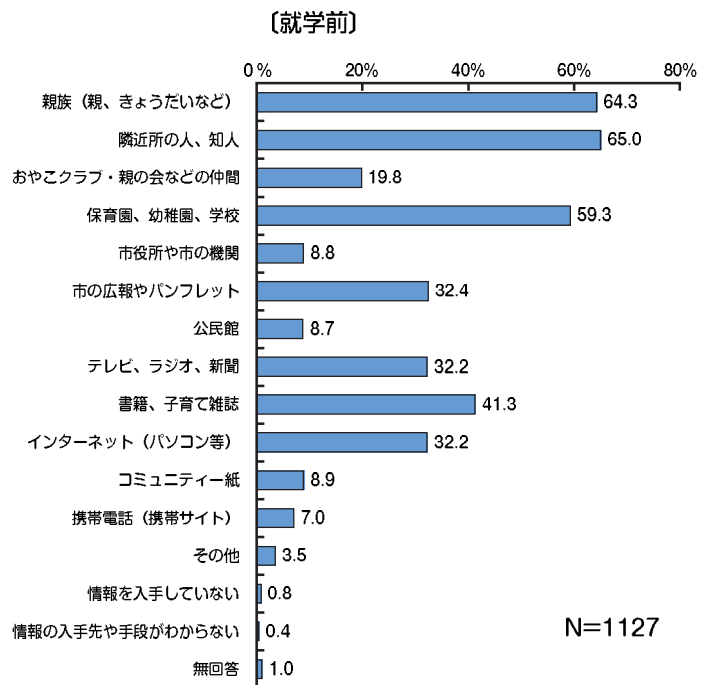
子育てが楽しいと感じる人の割合は、前回調査と比べやや多くなっています。



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

②子育てに関する情報の入手先

子育てに関する情報は、親族や隣近所の人、知人等の身近な人から得ている人が多くなっています。



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

1

2

3

4

5

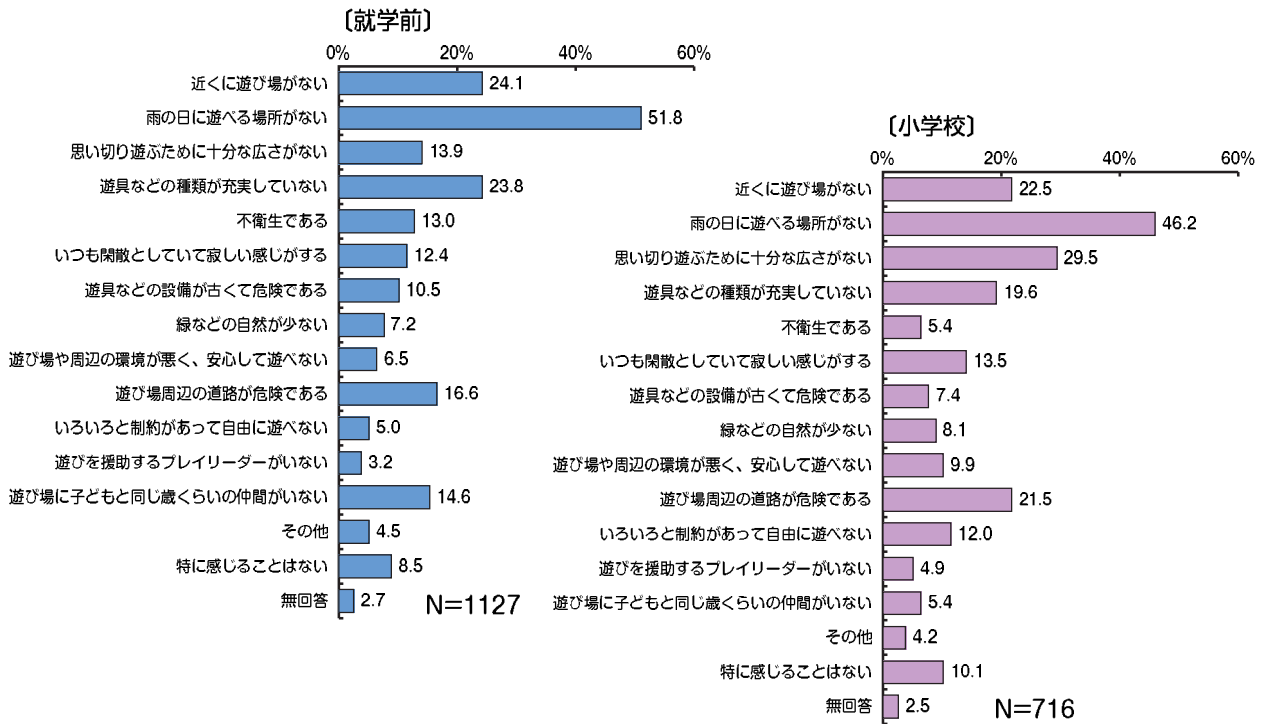
6

7

資料

③子育て環境について

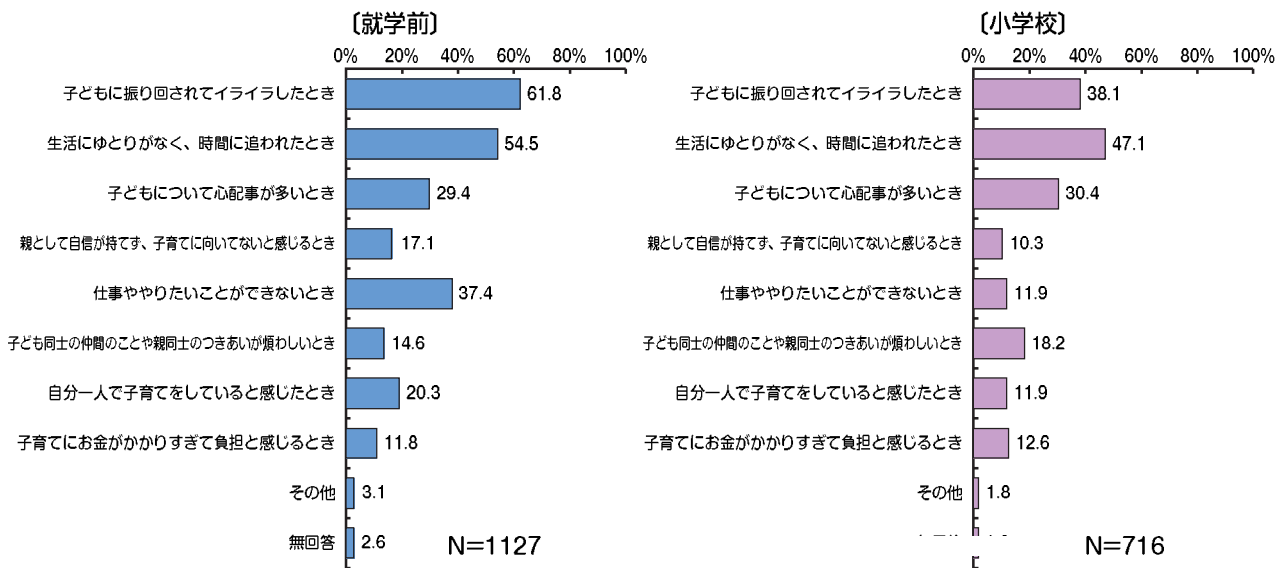
家の近くの子どもの遊び場については、「雨の日に遊べる場所がない」との回答が最も多くなっています。



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

④子育てが楽しくないと思うとき

子育てが楽しくないと思うときは就学前・就学後ともに「子どもに振り回されてイライラしたとき」「生活にゆとりがなく、時間に追われたとき」が高い割合となっていますが、「仕事ややりたいことができないとき」が就学前児童調査でのみ高くなっています。



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

1

2

3

4

5

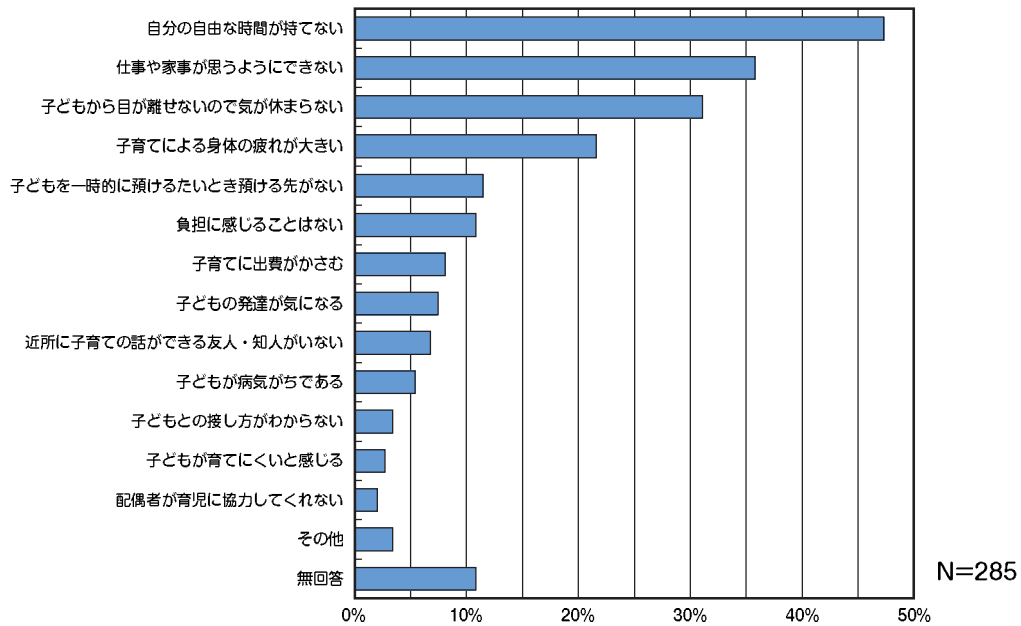
6

7

資料

⑤子育てに負担を感じる理由

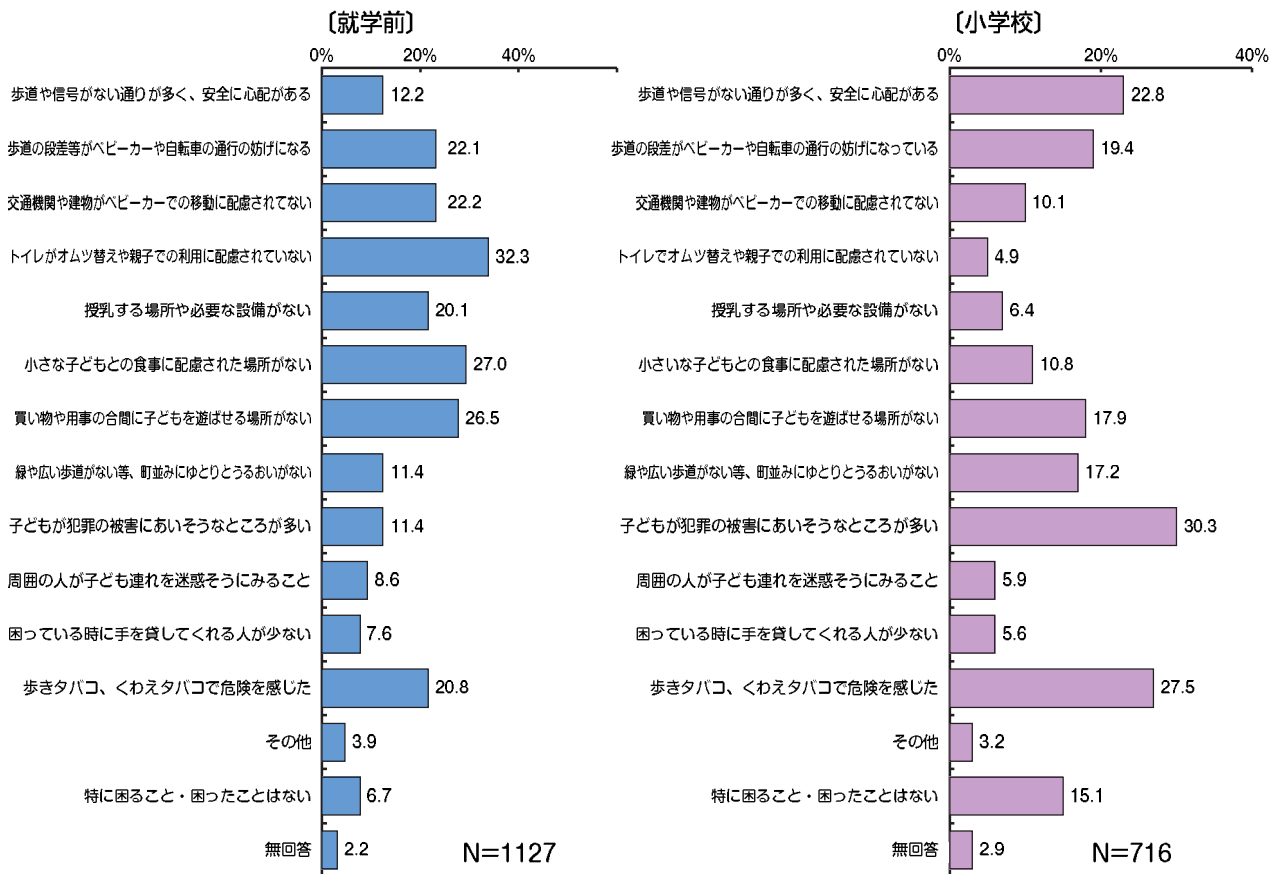
子育てに負担を感じる理由として、「自分の自由な時間が持てない」、「仕事や家事が思うようにできない」割合が高くなっています。



【平成18年度 岡山市育児環境調査】

⑥子どもとの外出の際、困ること・困ったこと

子どもがまきこまれる犯罪や交通事故への危機意識が高まっています。



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

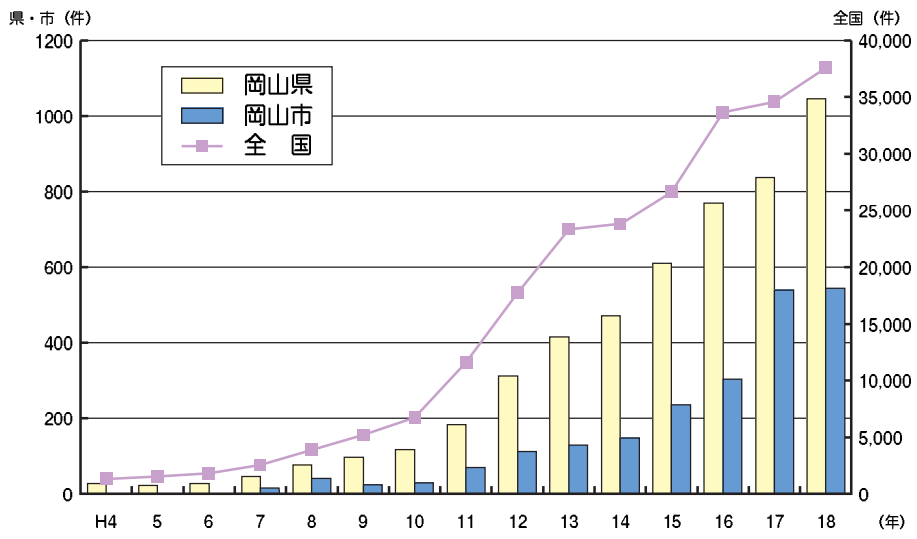
1
2
3
4
5
6
7

資料

(5)子どもの虐待相談件数

子どもの虐待についての相談件数が増えています。

【全国・県・岡山市の子ども虐待相談件数】



【岡山市】

1

2

3

4

5

6

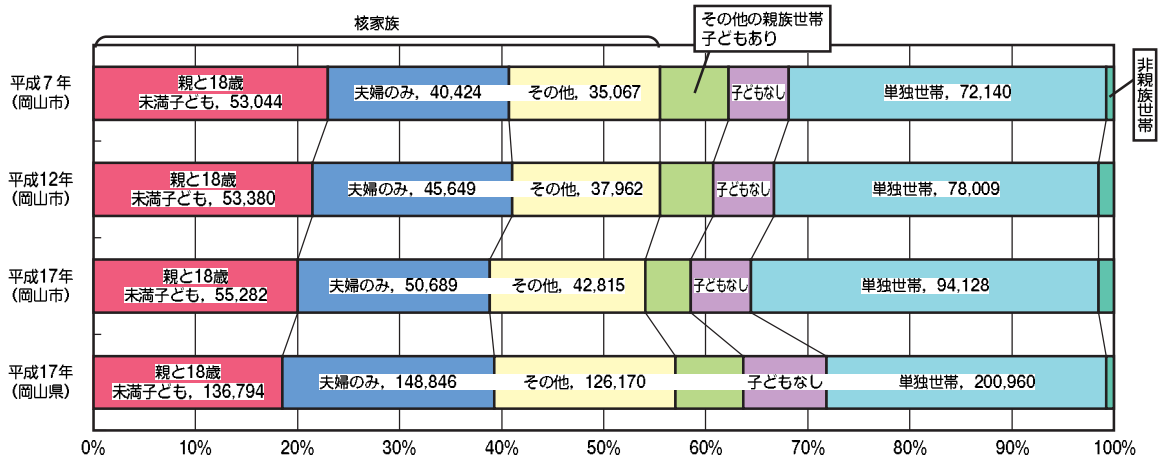
7

資料

3. 地域の状況

(1)世帯の状況

単独世帯の割合が増加し、子どものいる家庭の割合が減少しています。岡山県と比較しても岡山市の単独世帯の割合は高くなっています。

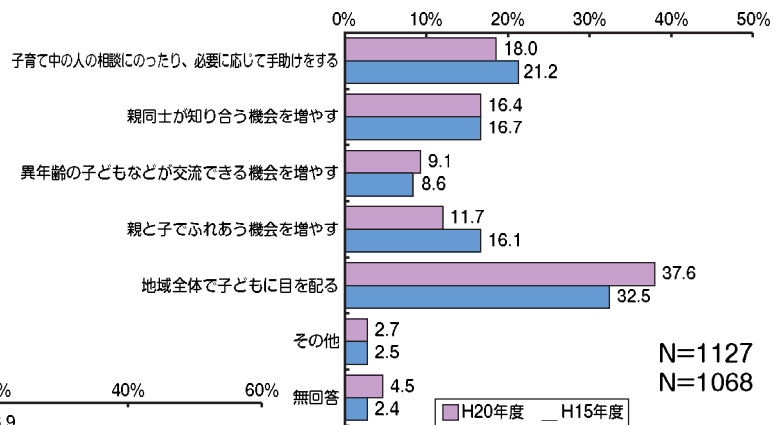


【国勢調査から作成】

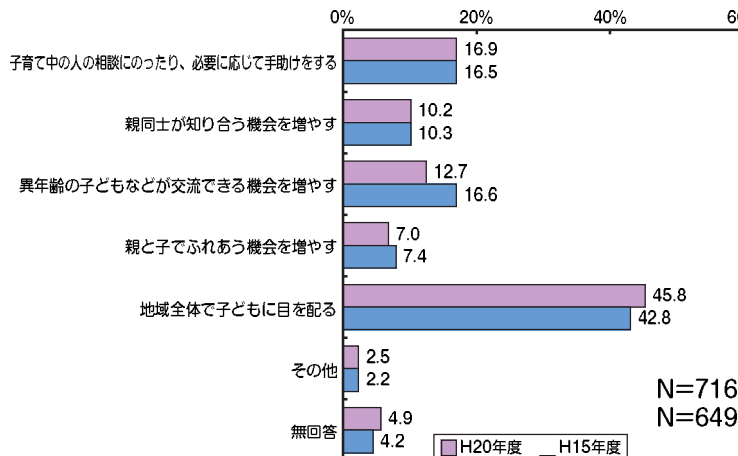
(2)地域に期待すること

地域全体で目を配って欲しい希望が増えています。特に小学校児童への調査では割合も就学前児童への調査と比較して高くなっています。また、就学前児童の「親と子でふれあう機会を増やす」や、小学校児童の「異年齢の子ども等が交流できる機会を増やす」をはじめとして全体に前回調査と比べて減少しています。

〔就学前〕



〔小学校〕



【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

1

2

3

4

5

6

7

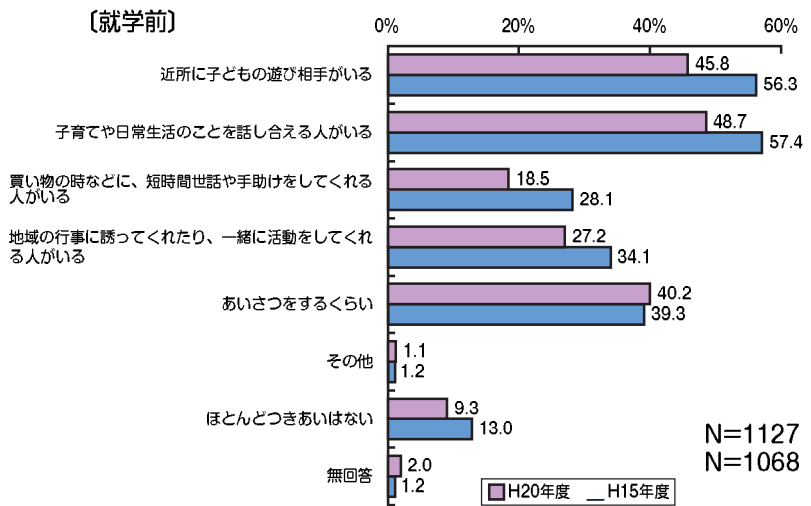
資料

1
2
3
4
5
6
7

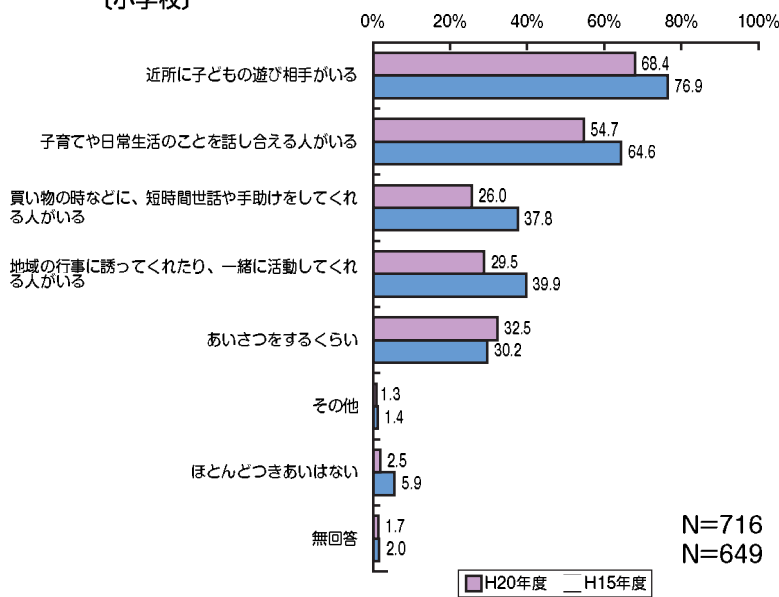
資料

(3)隣近所との付き合い

前回との比較で近所との付き合いが全体的に減少しています。また、「近所に子どもの遊び相手がいる」割合も減少しています。



〔小学校〕

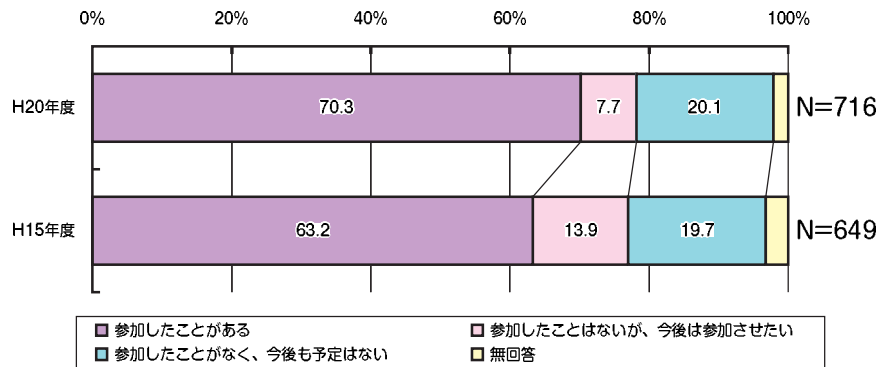


【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

(4)子どもの地域活動等への参加状況

地域活動やグループ活動に参加したことがある子どもの割合は前回に比べ増えています。「参加したことがなく、今後も予定はない」割合は変わっていません。

【子どもの地域活動やグループ活動への参加状況】〔小学生〕

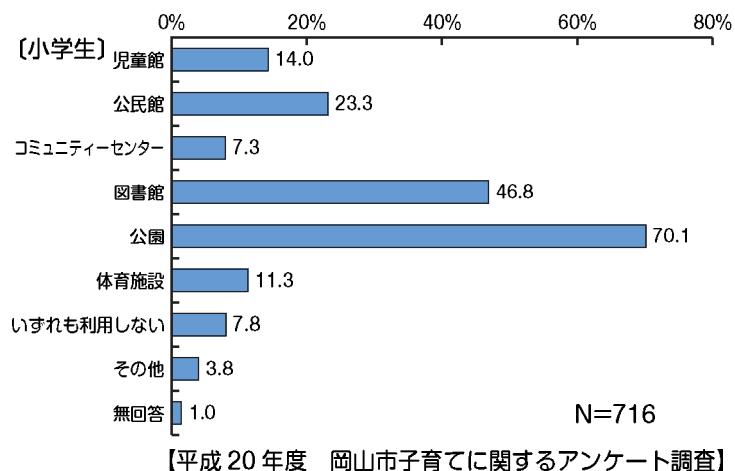


【平成20年度 岡山市子育てに関するアンケート調査】

(5)地域での子どもの居場所

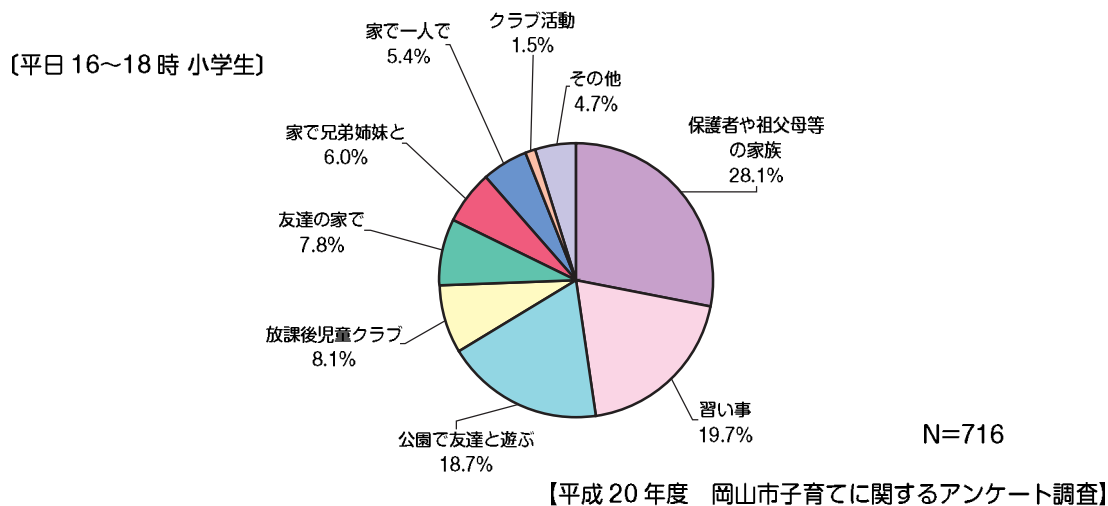
①よく利用する公共施設

公園が最も多くなっています。
図書館や公民館の利用も多くなっています。



②平日放課後の子どもの過ごし方

「保護者や祖父母等の家族」「習い事」「公園で友達と遊ぶ」割合が高くなっています。



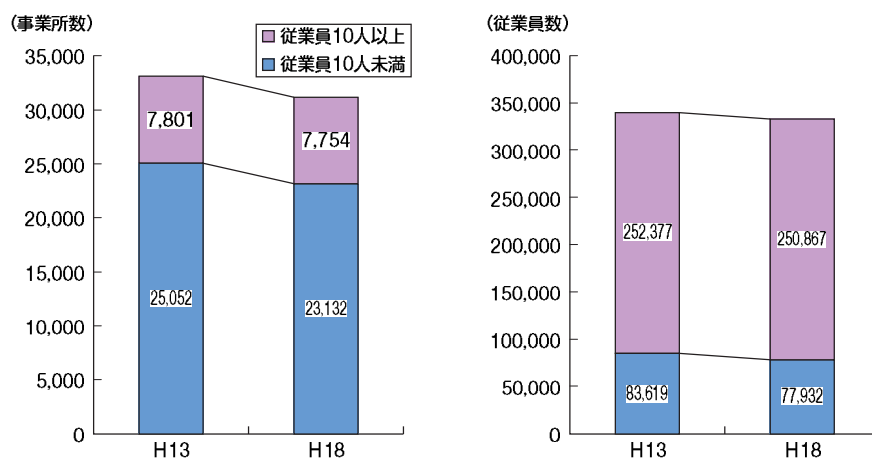
4. 事業者の状況

(1)産業・雇用の状況

①規模別事業所数と就業者数

規模数では平成13年と比較して10人未満の企業数の減少が大きくなっています。従業員数でも10人未満の企業数の減少が多くなっています。

〔岡山市〕



(2)企業のワーク・ライフ・バランスへの取組状況

①企業が取り組んでいる・取り組んで欲しい職場環境の整備

1

2

3

4

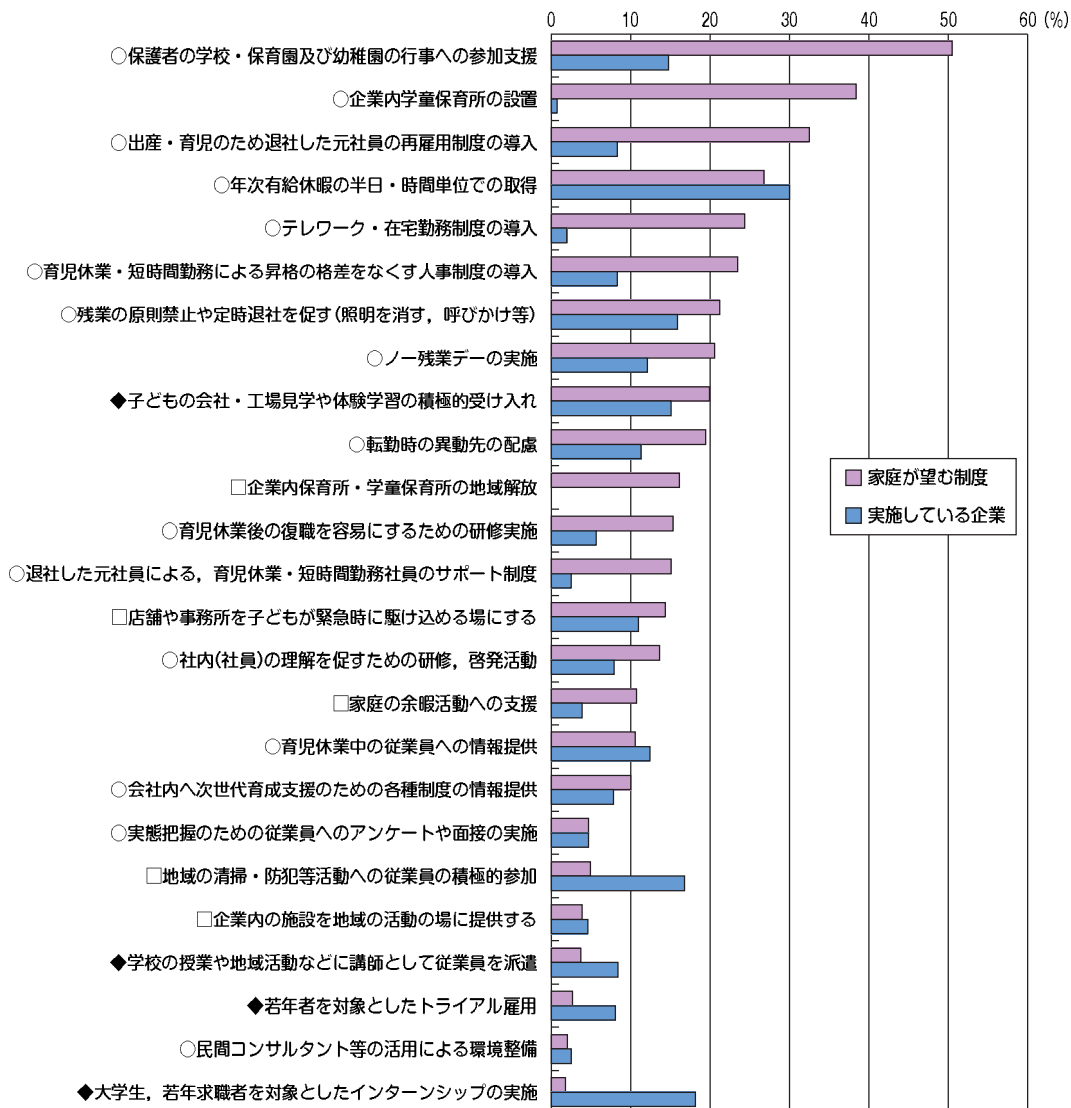
5

6

7

資料

【就学前】



注) ○: 企業内の子育てをしやすい職場環境づくりを進める取り組み

◆企業が職場見学や体験を積極的に受け入れる取り組み

□地元企業と地域や家庭との関わりを深める取り組み

【平成20年度 岡山市企業アンケート調査・平成20年度岡山市子育てに関するアンケート調査】

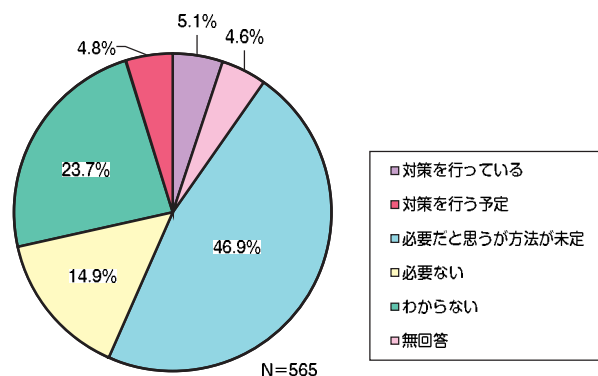
②一般事業主行動計画の策定状況

策定をしている企業は10.4%となっています。従業員数が300人以下の企業では策定が努力義務となっているため、策定している企業の割合は非常に低くなっています。

【平成20年度 岡山市企業アンケート調査】

③ 少子化社会に向けての事業の見直し等の対策を行っている企業

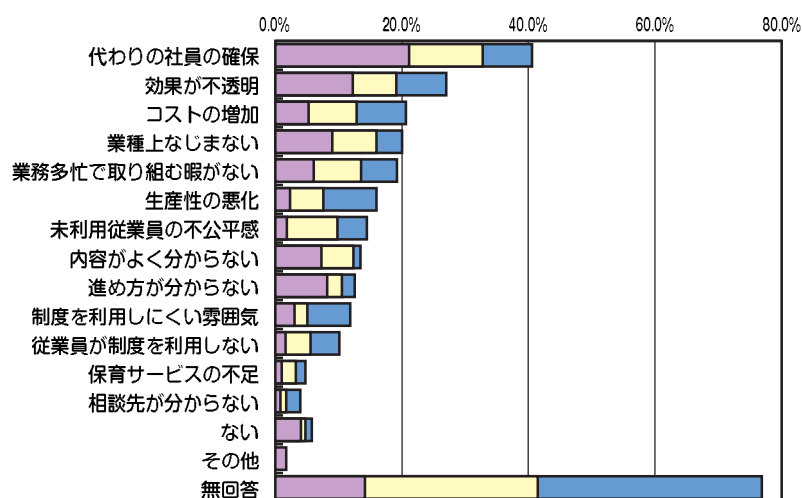
対策を行っている又は行う予定としている企業は9.7%とわずかですが、必要だと思う企業は半数近くに達しています。



【平成20年度 岡山市企業アンケート調査】

④ 次世代育成支援やワーク・ライフ・バランスを促進していく上での問題点

進めていく上で支障となる点については、「代替りの社員の確保」が最も高くなっています。また、「効果が不透明」「コストの増加」「生産性の悪化」等、業績に直接結びつく点も上位に来ています。「内容がよく分からない」「進め方が分からない」といった点を第1位であげている企業も多く、事例の公開等を進めていく必要もあります。



【平成20年度 岡山市企業アンケート調査】

⑤ その他

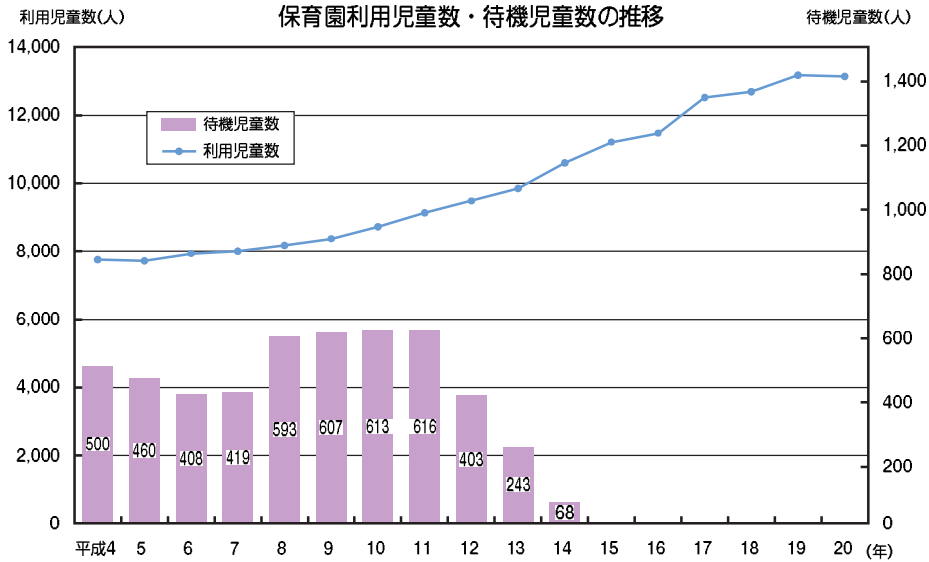
景気の悪化や倒産数の増加、売り上げの減少・利益の減少により、経営の基盤が不安定になっています。

5. 学校・園の状況

(1) 園児・児童・生徒数の推移

① 園児数の推移

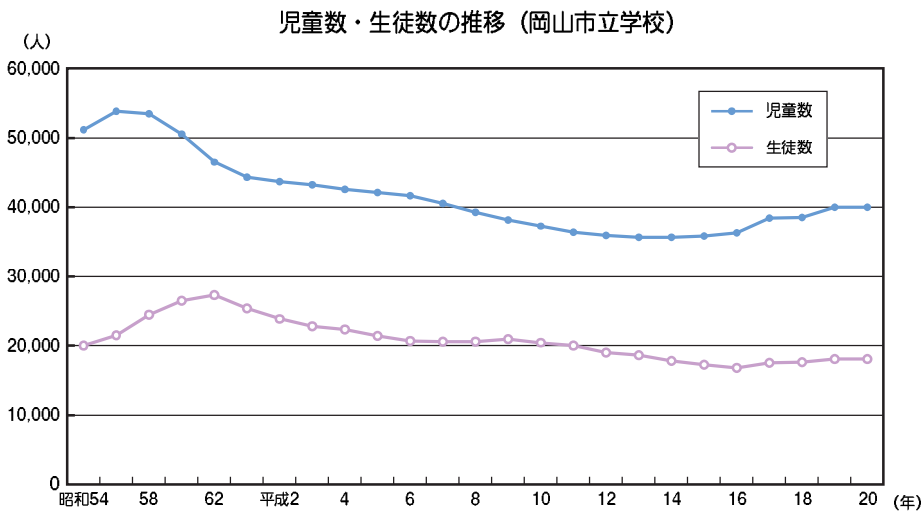
共働き世帯の増加等により、保育園児数は増加しています。



【岡山市】

② 児童・生徒数の推移

児童数、生徒数ともに減少していますが、ここ数年は微増傾向にあります。



【岡山市】

1

2

3

4

5

6

7

資料

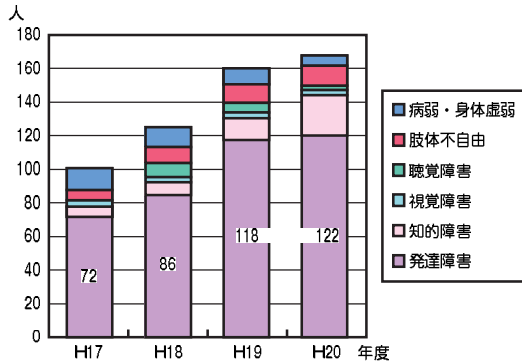
(2)発達障害児の状況

学校や園での発達障害児と判定・診断された児童の在籍数が増加しています。

〔岡山市立幼稚園・岡山市公私立保育園に在籍する障害児〕

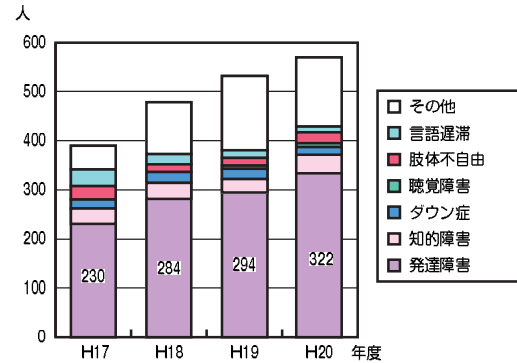
○ 岡山市立幼稚園

各年度 5月1日現在



○ 岡山市公私立保育園

各年度 1月1日現在

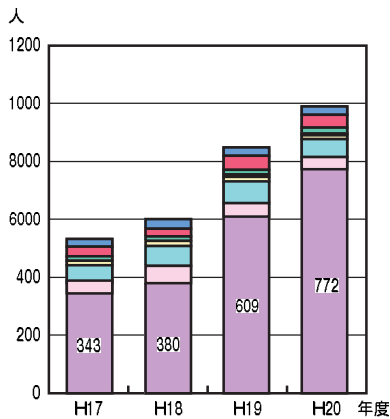


※言語障害は含まれていない

〔岡山市立小・中学校 通常学級に在籍する障害のある児童数〕

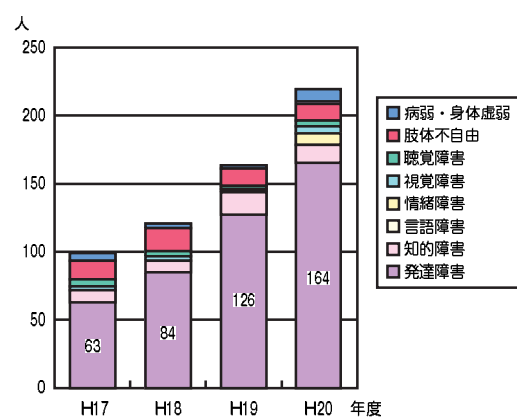
○ 小学校

各年度 5月1日現在



○ 中学校

各年度 5月1日現在



※発達障害：自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害・学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)
〔岡山市〕

1

2

3

4

5

6

7

資料

3 策定経過等

策定経過

年 月	会議等の開催状況
平成20年10月	○後期プラン策定幹事会
11月	○ワーキングチーム意見聴取
12月	○後期プラン策定市民応援団委嘱 ○後期プラン策定市民応援団 意見聴取 ○市議会保健福祉委員会
平成21年 1月	○子育てに関するアンケート調査
2月	○子育てアクションプラン推進会議・後期プラン策定幹事会合同会議 ○ワーキングチーム意見聴取
8月	○ワーキングチーム意見聴取 ○市総合政策審議会 保健・福祉部会
9月	○市議会保健福祉委員会
11月	○ワーキングチーム意見聴取 ○市総合政策審議会 保健・福祉部会
12月	○後期プラン策定幹事会 ○市議会保健福祉委員会 ○ワーキングチーム意見聴取 ○市総合政策審議会 保健・福祉部会 委員意見聴取 ○パブリックコメント
平成22年 1月	○後期プラン策定市民応援団 意見聴取 ○ワーキングチーム意見聴取 ○市議会男女共同参画・次世代育成調査特別委員会
2月	○アドバイザー意見聴取 (岡山大学 大学院教育学研究科 水野 正憲 教授) ○アドバイザー意見聴取 (岡山大学 大学院保健学研究科 小田 慈 教授) ○市総合政策審議会 保健・福祉部会 ○市議会保健福祉委員会

1

2

3

4

5

6

7

資料

心豊かな岡山っ子育成プラン推進会議設置要綱

(目的及び設置)

第1条 心豊かな岡山っ子育成プランを総合的に調整し、円滑に推進するため、心豊かな岡山っ子育成プラン推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進会議の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 心豊かな岡山っ子育成プランの進行管理に関すること。
- (2) 事業の推進に係る連絡調整に関すること。
- (3) その他目的を達成するために必要な事項

(組織)

第3条 推進会議は、会長、副会長及び委員をもって組織する。

2 会長は、保健福祉局こども・子育て担当局長とし、会務を総理する。

3 副会長は、教育委員会教育次長に委嘱するものとし、会長を補佐するとともに、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

4 委員は、別表1に掲げる者をもって充てるほか、別表2に掲げる者に委嘱する。

(会議)

第4条 推進会議は、会長が必要に応じて招集する。

2 推進会議の議長は、会長がこれに当たる。

(関係者の出席)

第5条 会長は、必要に応じて推進会議に関係者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第6条 推進会議の庶務は、こども企画課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営その他必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年4月1日より施行する。

別表1（第3条関係）

保健福祉局統括審議監 保健福祉局審議監（こども・子育て担当） 医療助成課長 障害福祉課長 こども福祉課長 保育課長 こども総合相談所長 保健管理課長 こころの健康センター所長 保健所長 健康づくり課長 安全・安心ネットワーク推進室長 生活安全課交通安全室長 男女共同参画課長 産業課長 雇用対策課長 住宅課長
--

別表2（第3条関係）

教育委員会事務局審議監（学校教育担当）教育企画総務課長 就学課長 指導課長 総合教育センター所長 保健体育課長 教育委員会事務局審議監（生涯学習担当） 生涯学習課長 中央図書館長 中央公民館長 少年自然の家所長

1

2

3

4

5

6

7

資料

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7